



「外為短期投資家動向調査」結果

<第83回調査>

2016年04月25日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施しておりましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2016年04月12日(火)13:00~2016年04月19日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は935件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

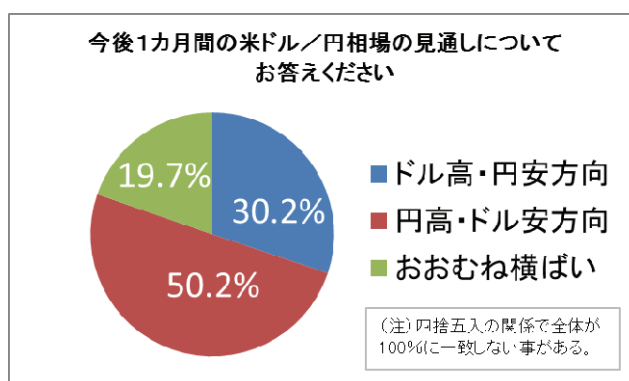
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第83回調査結果略報：円強気派が再び増加】

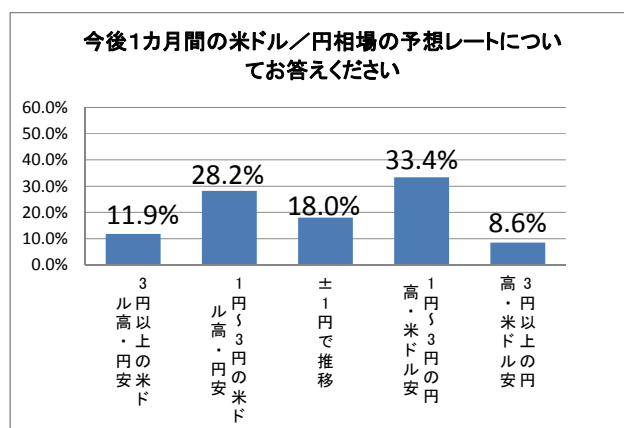
問1：今後1か月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1か月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が30.2%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は50.2%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は▼20.0%ポイントとなり、前回(▼4.3%)から米ドル弱気・円強気の回答割合が大きく増加する結果となった。ただ、ドル強気・円弱気派(前回：33.3%)はさほど減少しておらず、おおむね横ばい派(前回：29.1%)がドル弱気・円強気派(前回：37.6%)に多めにシフトしたようだ。調査期間中のドル/円は11日に年初来安値107.633円を付けてからの戻りの中にあっただものの、109円台では頭を押さえられていた。こうした状況下で、戻り売りを見るFX投資家が増加したものと考えられる。しかし、その一方で、「3月末からの下げが大きかっただけに、107.633円で底を打ったら戻りは強い」との見方をする向きもドル強気・円弱気派として根強く残ったようだ。※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1か月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1か月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の円高・米ドル安」が33.4%と最も多く、「1円～3円の米ドル高・円安」が28.2%、「±1円で推移」が18.0%と続いた。「3円以上の米ドル高・円安」は11.9%、「3円以上の円高・米ドル安」は8.6%であった。先月に比べて「±1円で推移」が目立って減少し、「1円～3円の円高・米ドル安」が増加した。ただ、それだけではなく、「3円以上の米ドル高・円安」および、「3円以上の円高・米ドル安」も回答割合が増加している。どちらかなりとも動き出す、と予想するFX投資家が増加しているようだ。

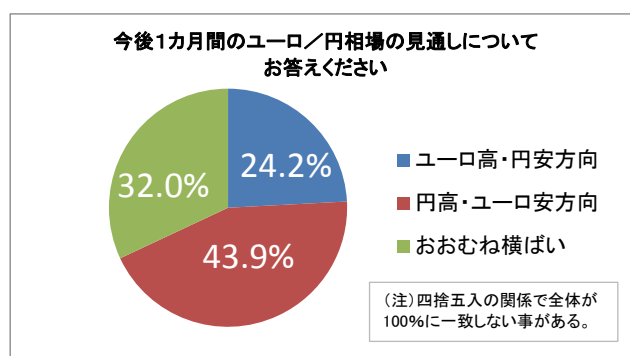


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

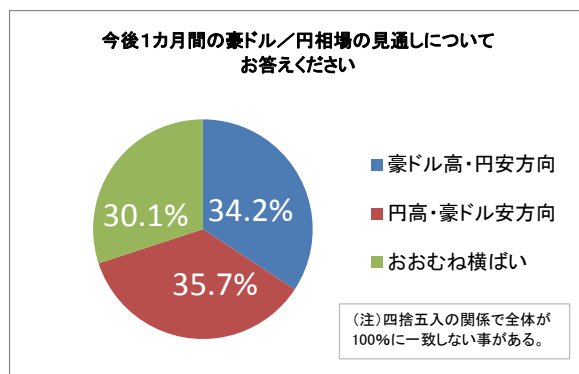
問3: 今後1か月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1か月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が24.2%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が43.9%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼19.7%ポイントと、前回調査(▼17.3%ポイント)からマイナス幅は拡大。8カ月連続のユーロ弱気見通しとなった。調査期間中のユーロ/円は、123円台後半から下値を切り下げて18日には2013年4月以来の安値水準である121.716円まで下落。その後は123円台に切り返した。多少切り返したとはいえ、4月に入ってからの大幅な下落(4月1日高値128.164)幅を考慮すると戻りは弱く、FX投資家の下値警戒の度合いはむしろ強まっている模様だ。※過去のユーロ/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問4: 今後1か月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1か月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が34.2%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は35.7%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は▼1.5%ポイントとなり、4カ月ぶりに豪ドル強気予想優勢となった前月から、再びマイナスDIへ転じた。調査期間中の豪ドル/円相場は81円台後半から上昇。一時、17日に開催された産油国会合で原油の増産凍結が合意できなかった事を背景にNY原油が急落。これに連れて82円台半ばまで値を下げる場面もあったものの、すぐに反発。調査期間終盤には85円目前まで値を伸ばした。こうした強さもあって豪ドル強気派は根強いが、引き続き原油先物の下落を警戒する声や、円の上ブレリスクが意識されている事などもあって、豪ドル弱気・円強気派の回答割合が最も大きくなった模様。とはいえ、FX投資家全体の意見はほぼ三分されており、圧倒的な多数派は不在だ。※過去の豪ドル/円予想DIの推移はP7-8に掲載。

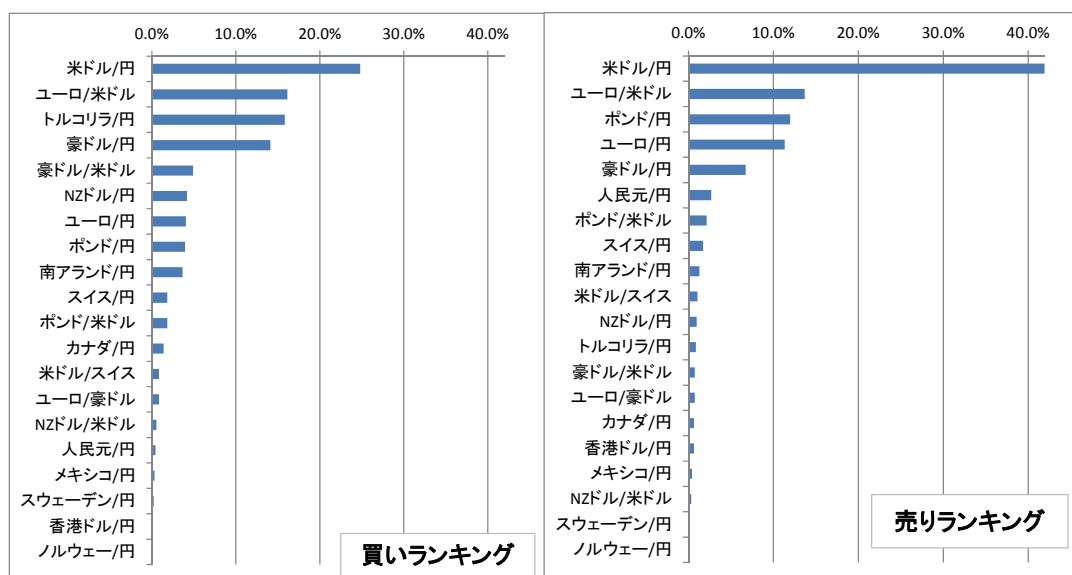


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が24.8%の回答割合を集めて第1位をキープした。以下、2位ユーロ/ドル(16.1%)、3位トルコリラ/円(15.8%)、4位豪ドル/円(14.1%)、5位豪ドル/米ドル(4.9%)と続いた。一方、「売り」で注目の通貨ペアは、1位米ドル/円(41.9%)、2位ユーロ/ドル(13.7%)、3位ポンド/円(12.0%)、4位ユーロ/円(11.3%)、5位豪ドル/円(6.7%)となった。「買い」で注目の通貨ペアについては、米ドル/円が43カ月連続で1位をキープ。米ドル/円は「売り」で注目の通貨ペアでも5カ月連続で1位の座を維持している。ただし、米ドル/円の「買い」で注目とした回答割合は、前回(29.9%)から低下した一方、「売り」で注目とした回答割合は前回(29.8%)から大きく伸びており、売りでの注目度の方がより高い事が分かる。米ドル/円は2014年10月以来の安値を付けた上、円売り介入など物理的な円高対策を打つのは難しいだろうと市場が考える中で、下落に対する警戒度合いが強いまま維持されているとみる。

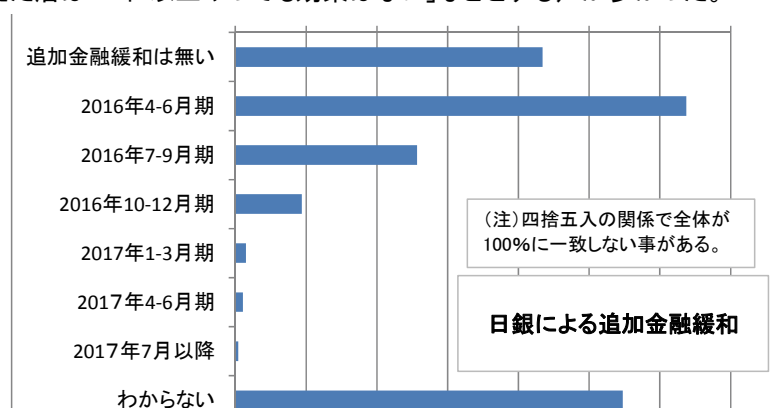


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

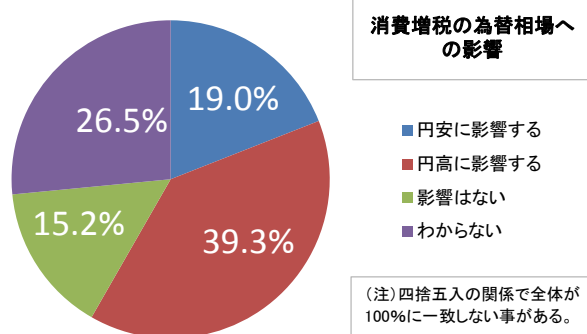
**問6: 日銀による追加金融緩和の実施時期についてお答えください。
(ひとつだけ)**

今回の特別質問項目として、「日銀による追加金融緩和の実施時期についてお答えください。(ひとつだけ)またその理由について、コメント欄へお書きください」と尋ねたところ、「2016年4-6月」が31.9%と最も多く、次いで「追加緩和はない(21.7%)」。これに「2016年7-9月(12.8%)」、「2016年10-12月(4.7%)」と続いた。2016年内に追加緩和が行われると見ているFX投資家は、全体の49.4%と半数近くに及んだ。コメント欄を見ると、2016年内に追加緩和があると答えた層については「円高修正のため」「選挙対策に株高を演出するため」などと回答が目立った。一方、「追加緩和はない」と答えた層は「これ以上やっても効果はない」などとする声が多かった。



問7: 2017年4月から予定通り消費増税が実施された場合、為替相場へはどのような影響があると思われますか？また、その理由をお書きください。

もうひとつの特別質問項目として「2017年4月から予定通り消費増税が実施された場合、為替相場へはどのような影響があると思われますか？また、その理由をお書きください。」と尋ねたところ、「円高に影響する」が39.3%と最も多く、「円安に影響する(19.0%)」、「影響はない(15.2%)」と続いた。「円高に影響する」と回答した層からは、日本経済に重石→日本株安→円高、という動きを連想したものが多かった。一方、「円安に影響する」とした層からは日本の景気悪化→日本売りによる円安を連想した声が大きかった。なお、「影響はない」と答えた層からは「織り込み済み」「税率引き上げは2%なので、大差なく、影響はない」とのコメントが寄せられた。

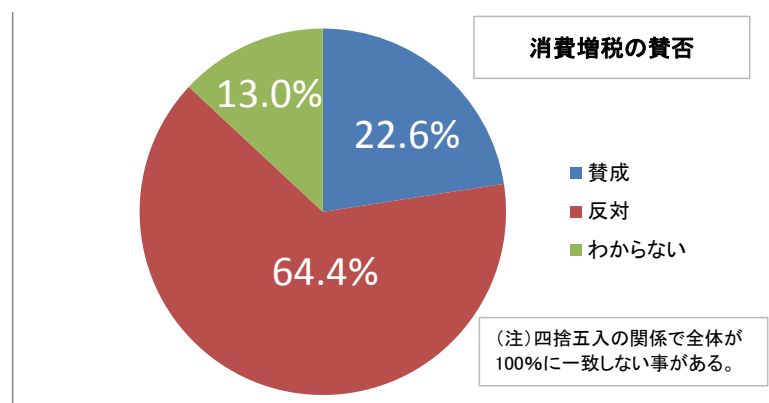


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問8: 今回の消費増税について、賛成か反対かをお伺いします。

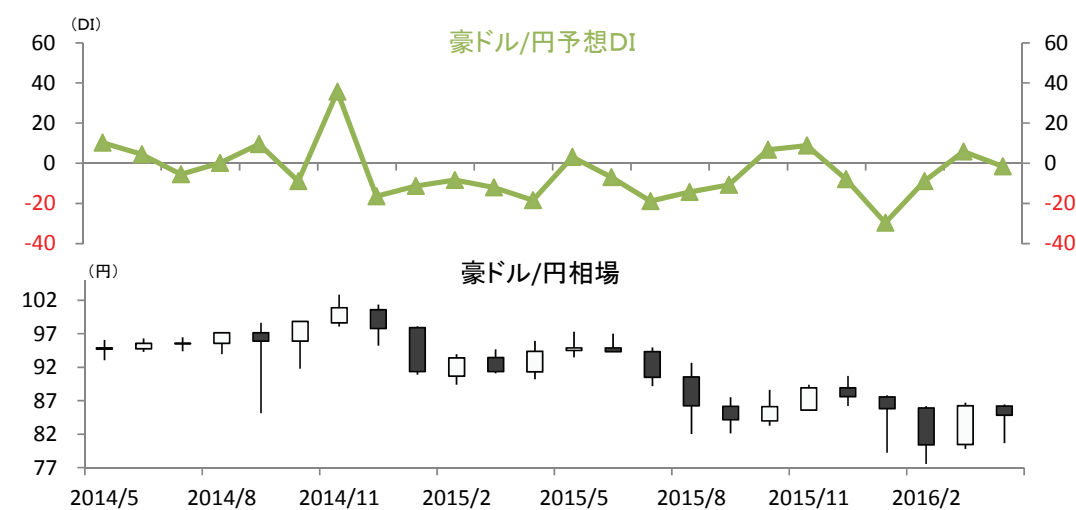
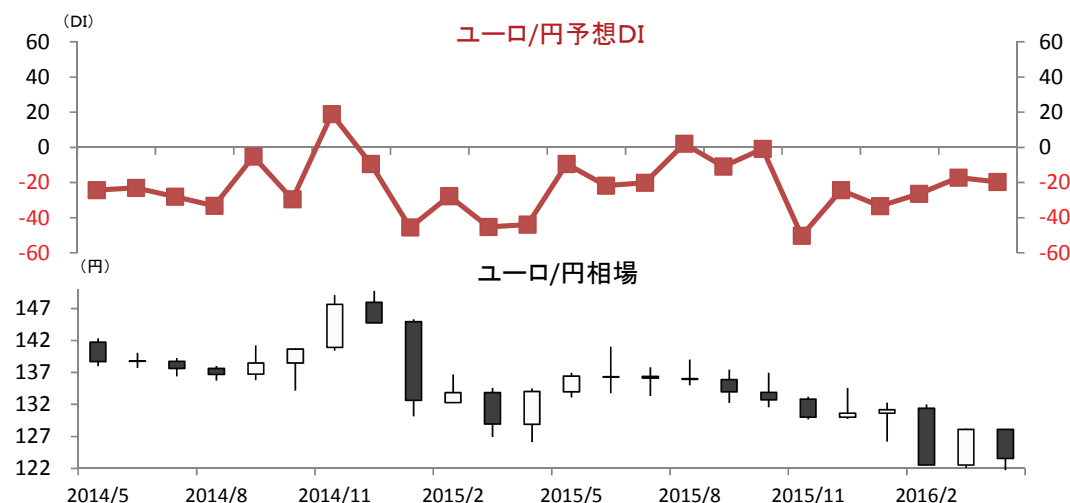
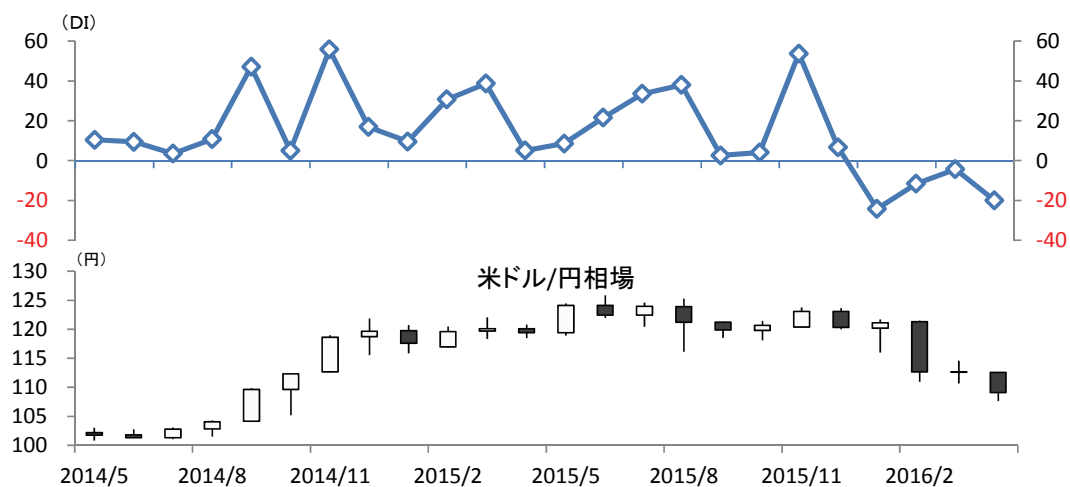
今回の特別質問項目として、「今回の消費増税について、賛成か反対かをお伺いします」と尋ねたところ、「反対」が64.4%、「賛成」が22.6%となった。問7のように、消費税増税の為替への影響の見方はマチマチとなったが、増税そのものについては反対派が圧倒的に多いという結果だった。なお、2013年9月(8%への増税前)に同様の調査を行った際には、賛成36.9%に対し、反対は45.5%だった。8%への増税の際に明確に景況感の悪化を感じたFX投資家が、今回の増税には反対に回ったものと考えられる。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表: 主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第83回目となりました。調査開始から6年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めていきたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル／円			ユーロ／円			豪ドル／円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2014年	5月	33.9	23.5	10.4	19.7	44.0	-24.3	34.2	24.0	10.2
	6月	31.1	21.7	9.4	20.1	43.1	-23.0	30.4	26.0	4.4
	7月	27.9	24.4	3.5	17.8	45.8	-28.0	26.7	32.3	-5.6
	8月	32.6	21.8	10.8	14.7	47.9	-33.2	27.8	27.7	0.1
	9月	64.8	17.6	47.2	28.0	33.2	-5.2	36.0	26.5	9.5
	10月	39.4	34.4	5.0	18.3	47.8	-29.5	27.1	36.1	-9.0
	11月	70.0	14.2	55.8	43.0	24.1	18.9	54.0	18.4	35.6
	12月	48.9	32.0	16.9	28.8	38.2	-9.4	26.9	43.4	-16.5
2015年	1月	39.3	29.7	9.6	15.1	60.6	-45.5	26.2	37.5	-11.3
	2月	46.8	16.1	30.7	19.7	47.5	-27.8	26.4	34.8	-8.4
	3月	52.3	13.6	38.7	15.2	60.5	-45.3	21.8	33.9	-12.1
	4月	31.4	26.3	5.1	15.1	59.0	-43.9	23.4	41.9	-18.5
	5月	29.1	20.5	8.6	31.0	40.4	-9.4	32.2	29.1	3.1
	6月	43.5	21.9	21.6	25.4	47.2	-21.8	24.3	31.3	-7.0
	7月	49.1	15.5	33.6	23.6	43.7	-20.1	22.8	41.7	-18.9
	8月	51.1	13.1	38.0	30.9	28.8	2.1	24.1	38.5	-14.4
	9月	37.1	34.5	2.6	24.9	35.8	-10.9	29.9	40.7	-10.8
	10月	30.3	26.2	4.1	30.3	31.1	-0.8	39.6	33.0	6.6
	11月	67.3	13.6	53.7	11.1	61.4	-50.3	34.4	25.6	8.8
	12月	43.8	37.1	6.7	19.7	44.1	-24.4	30.5	38.4	-7.9
2016年	1月	27.3	51.5	-24.2	19.2	52.6	-33.4	22.8	52.5	-29.7
	2月	34.7	46.3	-11.6	22.5	49.0	-26.5	32.3	41.3	-9.0
	3月	33.3	37.6	-4.3	24.8	42.1	-17.3	37.6	31.8	5.8
	4月	30.2	50.2	-20.0	24.2	43.9	-19.7	34.2	35.7	-1.5

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com